

編集後記

アヴニール労務事務所 所長 柿野元博

電話 (06) 7172-0165

E-Mail avenir4you@gmail.com

〒561-0884 大阪府豊中市岡町北 1-7-9

先日、所用で和歌山県新宮に行ってきました。熊野に近いこの駅舎には、サッカー日本代表のフラッグが掲げられています。

日本サッカー協会のシンボルは、ボールを押さえている太陽の化身とされる**八咫鳥**（やたがらす）です。熊野から大和への険しい道中、神武天皇を先導したという神話があることから、日本のサッカーを勝利に導く神の遣いとして、3本足の八咫鳥をシンボルマークに使うようになったといわれています。



さあ、ワールドカップが開幕しました。

左は日本代表の主将・長谷部選手の著書、「**心を整える。**」

2011年に刊行され136万部突破したベストセラーですが、久しぶりに読み返しても既にオヤジである私の胸をうち、若い彼の素晴らしい人間性に感心させられます。

長谷部選手は、『**心は鍛えるものではなく、整えるもの**』といっています。

そして、迷いが生まれているときには、身近なところにいる「**頑張っている人**」を目にするようにしていると、次のように言っています。

『お母さんが小さい子供を自転車に乗せて、一生懸命こいでいる姿が好きだ。

僕はこのシーンが女性の魅力的な瞬間のひとつだとも思うし、パワーをもらえるのだ。

僕が気づかないだけで、日々の生活は頑張っている人々の姿であふれているのだと思う。

自分のことでいっぱいになり、そういう姿に気がつける自分でありたい。』



一方、平成10年3月の和歌山地裁。

離婚し2児を女手ひとつで養育していたパート従業員を、役員らが「**おぼん**」と継続的に呼ぶ等して、その後退職に追い込んだ事案。

会社と役員等の不法行為を認め、パート従業員に対する慰謝料の支払いを、会社と役員等の双方に命じました。裁判所は、「おぼん」は侮辱的な呼称であると言わざるを得ないとしています。

何とも長谷部選手の感性とは、ほど遠い話ですね。

ちなみに長谷部選手のこの本の印税は**全額**、東北関東大震災の被災地に向けてユニセフを通じ**寄付**されることになっています。

本当に頭が下がります。。

そんな長谷部選手をはじめとする我々が代表チームは、ワールドカップでの苦戦が予想されています。画面越しではありますが、私も一生懸命パワーを送りたいと思います。

がんばれ日本！(^o^)/

ただサッカー日本代表に限らないことですが、気がつけばアスリートの皆さんにはパワーをもらっています。長谷部選手のいうとおり、やはり一生懸命頑張っている人は、見ている人を元気にさせるものですよね。



ところで。

冒頭の和歌山の新宮から大阪への帰りは、こんなパンダ列車で大阪に帰りました。**なんだかんだパンダ**言って楽しかったです。あ、やっぱりオヤジですね。。m(_ _)m



アヴニール労務事務所
avenir
未来は変えられる!